

地域・在宅看護方法論3テスト

令和7年11月28日

出題者 白波 さおり

学籍番号

名前

50

問題1 呼吸・循環に関する地域・在宅看護技術において、下記の（ ）に入る言葉を語群より選んで記入しなさい（各1点）

呼吸苦や呼吸困難などの呼吸器症状は、その人の（QOL）を低下させ、社会活動を大きく阻害する。

そのうえ症状の悪化は、（死）にいたる可能性もある。病院の入院場面などの異なり、地域・在宅看護の場面では、常時（医療職）がいて頻繁に観察できる環境ではない。呼吸のような生命に（直結）する機能のアセスメントは、その1回がより重要になるため、（五感）をフルに活動させながら、的確にアセスメントする。

フィジカルアセスメントとは（視診）（触診）（問診）（聴診）（打診）などを通して症状の把握や異常の（早期発見）を行うことで（急変）を予測するためにきわめて重要なアセスメントである。

呼吸・循環のフィジカルアセスメントは（対話）から始まる。

早期発見 視診 医療職 五感 触診 対話 問診 死 QOL 聴診 急変 直結
打診

問題2 機能の維持、向上を目指すケアについて、下記の（ ）に入る言葉を語群より選んで記入しなさい（各1点）

吸引は①（自力）での痰の喀出が困難 ②（痰）の量が多い ③全身の（衰弱）や（意識障害）がある ④（嚥下機能）の低下や（誤嚥）がある ⑤（気管切開）を受けているなどの療養者に行われる。

排痰ケアで最も有効なことは、（咳嗽）である。

からだの中に酸素を十分に取り込めない状態の患者様に在宅で行えるものとして（在宅酸素療法（HOT））がある。酸素は燃焼を助ける性質があるため、近くに（火気）があると引火を引き起こしやすいため注意が必要である。

気管切開を行って人工呼吸を行う方法を（侵襲的陽圧換気（TPPV））

鼻、あるいはフルフェイスマスクを使って人工呼吸を行う方法を（非侵襲的陽圧換気（NPPV））という。

痰	非侵襲的陽圧換気（NPPV）	咳嗽	意識障害	気管切開	侵襲的陽圧換気（TPPV）
衰弱	火気	誤嚥	在宅酸素療法（HOT）	自力	嚥下機能

問題3 慢性閉塞性肺疾患（COPD）患者、筋委縮性側索硬化症（ALS）患者の在宅療養について、

疾患の特徴、アセスメントのポイントについて下記の（ ）に入る言葉を語群より選んで

記入しなさい（各1点）

慢性閉塞性肺疾患は、肺の（炎症性疾患）であり、労作時の（呼吸困難）、慢性の喀痰や咳嗽といった症状が（進行性）に引き起こされる。日常生活動作（ADL）とそれに伴う（症状）の評価が重要である。

筋委縮性側索硬化症（ALS）の療養者は、根治治療はなく（つねに進行性）で、様々な機能を失い、自立した生活が徐々にむずかしくなる。

慢性的な症状による苦痛、不安を抱えた療養者は（抑うつ気分）を生じやすい。

慢性的に進行する病であるため、「いざというときに」どの程度（治療）を望み、（療養の場）の選択、どの程度で入院を考えるか、（意思疎通）がはかれないときに誰に判断をゆだねるかなど、意向を確認しておくことが重要である。早い段階からの（アドバンスケアプランニング（ACP））が重要である。

意思疎通	進行性	呼吸困難	症状	抑うつ気分	炎症性疾患	治療
アドバンスケアプランニング（ACP）	療養の場	つねに進行性				

問題4 暮らしと地域を理解するための考え方、および「暮らしを支える看護」について、

学んだことを記載しなさい（配点 10点）

暮らしと地域を理解するためには、人それぞれ、文化や宗教、生活の中の習慣を大切に看護していく必要があると学んだ。
また、その人の尊厳や意向を大切にすることがある。
その人の暮らしと地域を理解するためには、先入観を持たないようにしたり、その人の生活の中に入れてもらった時には、周囲を見すぎないようにしたりと、本人（患者）を不快にさせたりしないようにしたいと思うし、年齢や産科教育、環境も違うため、その人にはその人らしい考え方があるから、否定するのはなく受け取られるような考え方をしたい。

10

テストお疲れ様でした (配点 5点)

講義の内容についての感想や、在宅看護への思いや気づきなどありましたら記載してください。

在宅看護とは、訪問看護師が人の生活を家庭内で暮らせるように
点滴や処置に必要な物を持ち、いき看護していることに授業を通し理解
できた。また、在宅看護は病院と違って家族と人の患者がそばにいなければならない
機嫌がわるいことばと在宅看護の良い所を知った。

患者も家族も医療者も、みんなが協力して、行っていることばと良かった。
これから、実習や訪問する際や、病棟実習の時には「患者のそばにいること」
「傾聴し安心感を与える」ように自分の態度や言葉に気を付けよう、いきたい。 S
授業を修了したのだき、ありがとうございます!

看護師として下で2年勤務について
学びたいですね。
"医療者"、そして"看護"について学びたい
医療者として医療者としての役割に
ついて学びたい。そして医療者として
学ぶことが出来る...
医療者としての役割を学ぶことが
下で。

氏名